

株式会社アトス・インターナショナル(ミュージック・エア)  
番組審議委員会 議事録

1. 日時：2024年7月4日(木) 15:00～15:30

2. 場所：株式会社アトス・インターナショナル本社 会議室(オンライン形式)

3. 出席者：(敬称略)

○番組審議委員

番組審議委員長 齋藤 純一(株式会社IPG ネットワーク 監査役)

番組審議委員 五十嵐 弘之(日本コロムビア株式会社 取締役 CFO、株式会社ドリーミュージック  
取締役)

番組審議委員 谷口 元(株式会社東京谷口総研 代表取締役社長)

番組審議委員 佐藤 毅(ゼプロユナイテッド株式会社 代表取締役社長)

番組審議委員 松山 梢(映画ライター)

番組審議委員 田中 良典(一般財団法人ヤマハ音楽振興会 事業企画開発部 普及企画グループ  
シニアパートナー)

番組審議委員 望月 秀城(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 経営企画グループ  
シニア アドバイザー)

番組審議委員 山崎 哲央(元株式会社テレビ神奈川プロデューサー、元株式会社 tvk コミュニケーシ  
ョンズ取締役、元関内ホール館長) (書面参加)

○放送事業者：(敬称略)

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長 福田 泉

業務推進本部編成局長 中口 裕丈

○番組供給者

株式会社アトス・インターナショナル

堀口 昭典(代表取締役社長)

城水 千明(代表取締役)

井上 靖(執行役員)

木村 俊央(メディア企画部 メディア・グループ ミュージック・エア担当プロデューサー)

4. 放送事業者から説明

株式会社シーエス・ワンテンより 110度 CS の概況について

5. 報告事項

①ミュージック・エアの編成方針・内容

昨年から今年にかけては、テイラー・スウィフト、ブルーノ・マーズ、クイーン、ビリー・ジョエル、  
レッド・ホット・チリ・ペッパーズ、コールドプレイ、エド・シーランなど大物の来日に合わせたアー  
ティストの特集を放送。

視聴者層については、スカパーの視聴データを基にしたここ1年のデータで、50代・60代男性が最も  
多く、50代男性、60代男性の順。男女比率は6:4で男性が多くなっている。

音楽ジャンルの割合は、洋楽、ロック・ポップス 65%、海外ジャズ 10%、その他オリジナル番組等で 25%。洋楽ロック・ポップスの中での年代の割合としては、70年代が1番割合が多く、全体の23%になっている。視聴者の反響が大きいアーティストを中心に編成しており、必然的に視聴者層が1番多い50代・60代男性が聴いていた70年代のボリュームが多くなっている。

## 6. 番組内容審議

### <番組概要説明>

番組名：「スティング&シャギー：エルヴィル城セッション 2018」

音楽界の二大スター、スティングとシャギーが2018年にフランスのエルヴィル城で行ったセッション。スティングは言わずと知れた伝説のトリオバンド「ポリス」、またソロで数多くのヒット曲を生み出してきた英国のスーパースター。シャギーは世界トップクラスの売り上げを誇るレゲエ界のスーパースター。その世界を代表する2人のアーティストが2018年に「スティング&シャギー」としてコラボアルバム『44/876』をリリースし、翌年グラミー賞「最優秀レゲエ・アルバム賞」を受賞。番組の舞台となるエルヴィル城は1740年に建造され、1969年から1985年までの間は音楽録音スタジオとして、エルトン・ジョン、ビージーズなど多くの有名アーティストが使用。番組のセッションでは、スティング&シャギー名義の2曲をはじめ、ポリスの名曲「Message In A Bottle」「Every Breath You Take」、スティングの名曲「Fragile」、シャギーの世界的大ヒット曲「It Wasn't Me」「Angel」、マーヴィン・ゲイの名曲「Let's Get It On」を披露。

55分番組 制作年：2018年（初回放送日：2024年2月23日／日本初放送）

### <委員からの意見>

◆エルヴィル城というバックグラウンドをスタジオとして使っているというところが非常に観ていて通常のものとは違った面白味を加えていると思った。

◆言葉で一か所、シャギーが昔スティングが言っていたことで印象に残っているフレーズというので、「曲は完成しない捨てるだけだ」というのがあったが、「捨てるだけだ」というのがどういう意味かわからなく、英語を聴いてみたら「abandoned」という単語を使っていて、「途中でやめる」という意味だと思った。そういう意味に伝わるような字幕にしたらもうちょっとスムーズだという気がした。

◆楽曲のタイトルが明記されていたが、その楽曲の制作年、そもそも誰の曲なのか、二人の共作曲なのか、ソロ曲のかなど、追記でフォローされているとより分かりやすいと思った。

◆曲の歌詞についてコメントするシーンがあったが、その曲については歌詞の字幕が乗っかっていても良かったと思った。

◆演奏曲はそれぞれの代表曲が盛り込まれていたのも、双方のファンもたくさん観てくれたのではないかなと思った。

◆今宅録とか、リモートでのレコーディングが主流となっているので、このような歴史的な建造物でレジェンドが演奏する映像を見ているとやっぱり音楽っていいなと改めて思わせてくれる番組だと思った。

◆天の声が二人から巧みに話を引出す展開も秀逸で、トークの中身も薄っぺらさがなく好感が持てた。

◆番組収録時、スティングは67歳くらいだが、「孤独のメッセージ」や「見つめていたい」など含めて、年齢を感じさせない、久しぶりにスティング節みたいな感じのボーカルを聴くことができ感動した。

### <番組供給者からのコメント>

翻訳の件やタイトルの件などのご意見もありましたので、今回頂いたご意見を参考に今後の編成に役立てていきたいと思っております。

### <質疑応答>

◆質問

今回はフランス制作の番組だが、基本はイギリス制作が多いのか？海外の番組制作会社はどこが一番多いのか？

◆回答

ミュージック・エアがライセンスしている番組は、英語圏のミュージシャンが多いため、ほとんどイギリス制作が多い。フランス制作の場合、ドイツなど他の国も同様で、例えばフランスで開催されたフェスやライブの場合など、フェスやライブが開催された国で制作されているケースがある。今回はフランス制作だが、セッションに加えてドキュメンタリー要素もあったのでミュージック・エアにとっては新しいケースだった。



- ・ 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：  
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和 6 年 7 月 4 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・ 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：  
令和 6 年 8 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上